

対象番組：NEWS23(TBS)

対象期間：3/12～3/16

・ 3/12(月)

森友学園問題を中心に、震災七年について一家五人の帰還した人のケースや韓国高官の来日などが報じられました。森友学園問題と韓国高官の来日については放送法第四条の見地から検討を行いました。いずれのトピックも放送法第四条の観点からは特に問題となる箇所は見られませんでした。森友学園問題については印象操作が疑われるシーンがありました。また、森友学園問題については検証者の所感を記しました。

・ 3/13(火)

森友学園問題を中心に、トランプ大統領の国務長官人事、民法改正、北朝鮮と拉致被害者、中国全人代、成田空港の新滑走路などが報じられました。例示したトピックについては放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、森友学園問題については放送法第四条の観点から問題が見つかったのみならず印象操作の疑われる箇所がありました。また、森友学園問題については検証者の所感を記しました。

・ 3/14(水)

森友問題を中心に、賃上げ、憲法 9 条改正などが報じられました。例示したトピックについては放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、森友問題と憲法 9 条については放送法に照らし合わせると不十分などころがあったのみならず、森友問題、賃上げ、憲法 9 条それぞれのトピックで印象操作の疑われる箇所がありました。また、賃上げと憲法 9 条については検証者の所感を記しました。

・ 3/15(木)

森友問題を中心に、前川氏公開授業に文科省の要請、ロシア大統領選挙などが報じられました。例示したトピックについては放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、森友問題と前川氏の公開授業を巡る問題では放送法第四条に抵触する可能性のあるシーンがみられました。また、森友問題については検証者の所感を記しました。

・ 3/16(金)

森友問題、前川前次官と文科省、北朝鮮、原発訴訟、皇室などが報じられました。例示したトピックについては放送法第四条の見地から検証を行いましたところ、森友問題と前川前次官と文科省については放送法第四条に抵触するシーンが見られました。また、森友問題については印象操作の疑われる箇所がありました。加えて、森友問題については検証者の所感を記しました。

※検証の詳細は次ページ以降の「詳細版」に掲載されている各放送日の報告書をご覧ください

放送法遵守を求める視聴者の会

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年3月12日																											
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙 高橋尚子																													
検証テーマ：森友問題、韓国高官来日																													
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森友学園問題</li> <li>・東京文京区、床下からホルマリン漬けの7体の胎児の遺体が見つかる</li> <li>・震災七年 一家五人の帰還した人のケース</li> <li>・韓国高官の来日</li> <li>・平昌パラリンピック</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> <li>・大崎事件の再審を高裁が認める</li> </ul>																													
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森友問題→結論：特に問題なし</li> </ul> <p>森友問題について報じられた。このトピックに当てられた時間は1404秒で、経緯説明、麻生大臣の会見、野党の動き、デモの様子、自民党の声、小黒一正氏のコメント、住田裕子弁護士のコメント、スタジオでのやりとり、の8つのポイントがあった。それぞれのポイントについての時間配分とその比率は以下の通りだった。</p>																													
<table border="1"> <caption>経緯説明の時間配分と比率</caption> <thead> <tr> <th>トピック</th> <th>時間 (秒)</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経緯説明</td> <td>564</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>スタジオ</td> <td>208</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>麻生大臣</td> <td>211</td> <td>15%</td> </tr> <tr> <td>住田弁護士</td> <td>64</td> <td>5%</td> </tr> <tr> <td>小黒一正氏</td> <td>105</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>デモの様子</td> <td>42</td> <td>3%</td> </tr> <tr> <td>自民党の声</td> <td>34</td> <td>2%</td> </tr> <tr> <td>野党の動き</td> <td>166</td> <td>12%</td> </tr> </tbody> </table>			トピック	時間 (秒)	比率 (%)	経緯説明	564	40%	スタジオ	208	15%	麻生大臣	211	15%	住田弁護士	64	5%	小黒一正氏	105	8%	デモの様子	42	3%	自民党の声	34	2%	野党の動き	166	12%
トピック	時間 (秒)	比率 (%)																											
経緯説明	564	40%																											
スタジオ	208	15%																											
麻生大臣	211	15%																											
住田弁護士	64	5%																											
小黒一正氏	105	8%																											
デモの様子	42	3%																											
自民党の声	34	2%																											
野党の動き	166	12%																											
<p>経緯説明では財務省がついに認めた森友学園を巡る決裁文書の書き換えは14の文書で合計300箇所へのぼつ</p>																													

ていて様々な表現の書き換えや削除があり安倍昭恵総理夫人の名前も消えていたことが報じられると共に、VTRではこれまでの国会答弁の様子や籠池氏や籠池氏から働きかけがあった鴻池祥肇参議院議員への取材、昭恵夫人が森友学園の幼稚園を訪問したときの映像が取り上げられていた。

麻生大臣については、「決裁された行政文書について、書き換えを行うというようなこと、これは極めて由々しきことであって、誠にいかん、私としても深くお詫びを申し上げる次第です。」という謝罪が取り上げられた他、記者会見では以下に朱記した3つのシーンでのやり取りが取り上げられていた。

【シーン1】

ナレーション「今日、総理や昭恵夫人を守るために文書を削除したのでは、と問われた麻生大臣は。」

麻生財務大臣「全然関係ないと思います、その点は、文脈からして。」

記者「書換の背景にはやはり政治家、あるいは政府に対する付度が働いたとお考えですか？」

麻生財務大臣「いえ、考えていません」

【シーン2】

ナレーション「麻生大臣は今日の会見で、」

麻生財務大臣「いわゆる答弁に、佐川の答弁と決裁文書の間には齟齬があったと、間違いがあったと、そうではないかという誤解を招くということで、佐川の答弁に合わせて書き換えたというのが事実だと思っています。」

【シーン3】

記者「資料に基づいて答弁すべきだと思うんですけども、逆に答弁に合わせて資料を書き換えるって明らかに変じゃありませんか？」

麻生財務大臣「だから変だから、処罰されたんですよ。」

記者「それについての責任ということはどう考えておられるんですか？」

麻生財務大臣「それによって佐川が言及の上で辞めるということになったと思います。」

ナレーション「辞任した佐川前理財局長が書き換えの最終責任者に関わったのは理財局の一部の職員だけだった麻生財務大臣、ただ、誰の指示だったかはまだ分かっていないとしました。」

記者「大臣ご自身が書き換えの事実を知ったタイミングというのはいつになるのでしょうか。」

麻生財務大臣「えっと3月の何日だっけ、11日か。」

ナレーション「問題の根幹に関わる決裁文書の書き換えを昨日まで知らなかったというのです。」

記者「圧力というか、書き換えるというのはよほどのことがないとやらないことだと思うんですけども。」

ナレーション「記者からは繰り返し麻生大臣らの関与を問う質問が飛びましたが。」

麻生財務大臣「一回に5回も6回も質問しないで、もうちょっと、分散してくれないかな。」

ナレーション「麻生大臣は自らの辞任についても考えていないとしました。」

また、麻生大臣の辞任について安倍総理が夕方取材に応じ「なぜこんなことが、起きたのか。全容を解明するため、調査を進めていく、麻生財務大臣にはその責任を果たしてもらいたいと思います。」と答えるシーンが取り上げられていた。

野党の動きについては立憲民主党の蓮舂参院国対委員長の「安倍内閣の嘘がはっきりしました。政権を挙げて財務省を挙げて国民に国会に嘘をついていたということを確認した。総理の丁寧な説明というのは隠すことだった、ちょっと愕然としています。」というコメントや希望の党の玉木雄一郎代表の会見での「麻生大臣の責任は、当然

のこととして、やはり安倍総理、総理夫人、そして安倍内閣全体の責任をとってもらわなければならない。」というコメントが取り上げられた他、野党合同での財務省へのヒアリングで社民党の福島みずほ参院議員が「はっきり言ってここまで財務省泥かぶる必要ないですよ、本件の特殊性は安倍夫妻じゃないですか」と発言するシーンや野党合同での財務省へのヒアリングでは以下に朱記した次の2つのシーンが取り上げられていた。

【シーン1】

今井雅人(希望の党衆院議員)「麻生大臣は理財局の一部の職員がやったことだって言っていますが、その上に誰かが指示したかどうかという事は答えていないんですね。それはちゃんと明らかにしてもらえますね。」

富山一成(財務省理財局次長)「それはまさに私が居ります理財局が自らの判断で、」

今井雅人「みずからやったんですね、」

富山一成「自らやったんです」

今井雅人「政治家からの指示を受けていないってどうしてここで断定できるんですか？」

【シーン2】

ナレーション「また野党のヒアリングでは」

野党議員「会計検査院に提示されているものはこの書き換え、改竄ですね、の後のものがでている」

財務省担当者「基本的には書き換え後のものを見ているというふうに思われます。」

ナレーション「財務省が国有地の値引きが適正だったかどうか調べていた会計検査院に提出していたことが明らかになりました。」

野党議員「去年11月22日に、報告書を出す以前の段階で別のものが2つあるということを会計検査院は知っていた、」

会計検査院担当者「はい、あの、その点につきましてはそういうことになります。」

野党議員「国会法に基づく会計検査院の検査を財務省が改竄資料を出して妨害した。これで内閣総辞職ができなかったら立法府の存立はないですよ。」

自民党の声では二階俊博幹事長の「政府当局には大いに反省してもらいたい」というコメントや小泉進次郎筆頭副幹事長の「官僚だけの問題ではないでしょう。自民党っていう組織は、政党は、官僚の皆さんだけに責任を押し付けるような政党ではない、その姿を見せる必要あるんじゃないですか」というコメントが取り上げられた他、自民党ベテラン議員の「なんで書き換えたかねえ、普通なら黒塗りにして出すかもっと早くにごめんなさいするべきだった。」という匿名でのコメントが取り上げられていた。

デモの様子では、デモの映像が取り上げられた他、デモに参加した男性の「首相には責任をとってもらいたいという気持ちです。」というコメントとデモに参加した女性の「黙って家でテレビを見ているわけには行かなかったので一応意思表示にまいりました。」というコメントが取り上げられていた。

小黒一正氏のコメントについては、VTRで以下に朱記したものが取り上げられていた。

ナレーション「元大蔵官僚で経済学者の小黒一正さんは決裁後の文書を書き換えるのは数字のミスや事実関係の訂正と言った場合を除いてみたことがないといいます。」

小黒一正(法政大学教授、元大蔵官僚)「なんで、そういう書き換えができたのかっていうところがよくわからない、リスクを負えた原因ですよ、かなり上のレベルの人がそれはもう大丈夫だろ、というふうに言ってあげないとその作業は中々できない。」

ナレーション「文書の書き換えは刑事罰に問われる可能性があり、一部の官僚の判断で書き換えを行ったとする説明には疑問があるというのです。」

小黒一正「通常もし、書き換えることを上から支持されたとすると自分のリスクでは当然負えないのでどんどん上のレベルに挙げていくと思います。これは次官とかかなり上のレベルになっても中々それを自分の責任でやってもいいよ、というふうに支持するっていうのは相当難しいんじゃないかな、と。」

ナレーション「また、文書の開示方法にも疑問があると言います。」

小黒一正「国会から要求があったとしても場合によっては全部ほとんど黒塗りになって出すというのがありますよね。なんで、そうしなかったのかなというのはちょっと思うところがありますけれど、まあ実際そういう書き換えをしだしたわけなので、そうせざるを得なかったなにか理由が別にあるんじゃないかと思うんですけども。」

住田裕子弁護士のコメントについては以下に朱記したものが取り上げられていた。

ナレーション「元検事で弁護士の住田裕子さんは決裁文書の書き換えは公文書偽造の罪に問われる可能性があるとした上で、文書の使われ方をより問題視します。」

住田裕子(元検事、弁護士)「スキを見せないような文書を提示することによって国政調査権、国会議員の質問県、その他諸々の真相追求に対する権限を行為を妨害したということになるかと思います。偽りの手段によって相手を誤解させることによってその質問券を封じようということになった場合に偽計業務妨害罪が成立すると考えたわけですね。国政の最高機関である国会での権限が行使できなかったことに関しては野党議員だけではなくやはり国会全体が重く受け止めて政府側、行政側に対して告発、告訴しても私はおかしくないと思っています。」

スタジオでは、官邸キャップの遊佐勝美記者との中継をつなぎ以下に朱記したやり取りが繰り広げられた。

駒田健吾「深刻な問題点がいくつもあるんですけども、まず麻生大臣は書き換えの最終的な責任者は佐川さんとしていますよね。」

星浩「私の聞いたところではですね、佐川さんは財務省の中の調査に対して一つはその昭恵夫人の名前が出ていたこと、それからまあ事実上その価格交渉の部分があったのでそれが書き換えになった理由なんです、という趣旨を話しているっていうんですよね。まあその書き換えをしましたっていうことを今度、佐川さんが誰に報告をしているかですね、その報告を受けた人は勿論責任ありますよね。それからその以前に佐川さんは官僚ですからね、独断でこういうことをできるとちょっと私は思えないんですよね、誰が佐川さんに指示したか、このへんは佐川さんは国会にでてきてきちんと証言してもらえないですね。」

雨宮塔子「政権に大きなダメージを与えている、決裁文書書き換え問題、今後の政局や国会の動きにどんな影響を与えるのでしょうか。官邸キャップの遊佐さん。」

遊佐勝美(官邸キャップ)「はい、この秋の自民党総裁選を見据えたものでしょうか、党内の派閥の動き、慌ただしくなっています。自民党岸田派と麻生派の幹部が今夜都内で会合を行いました。総裁選に向けた情報収集という意味合いが強いものですが、ポスト安倍を伺う岸田政調会長と渦中の麻生財務大臣の派閥の会合だけに、憶測を呼びそうです。一方、この問題のキーマンというべき自民党二階幹事長は安倍総理が総裁にふさわしいというこれまでの考えに変わりはないか聞かれまして、微動だにしない、というふうに言い切っています。立憲民主党など野党六党の動きですけども、真相究明に不可欠として佐川前国税庁長官と安倍総理の昭恵夫人の証人喚問を引き続き求めていく方針です。また、決裁文書の書換の全容が明らかにならないかぎり国会審議には応じられ

ないといっています、明日開催の参議院予算委員会の公聴会を欠席する構えでして正常化するまではなお時間がかかりそうです。」

雨宮塔子「はい、麻生大臣の去就が焦点ですね。」

星浩「そうですね、財務省の所管している法案って国会にいっぱいできているんですよね、でおそらくこのままだと国会審議進みませんから、法案が通らない、国会が混乱した責任を取る形で辞任という可能性はあるかなと思いますね。メドは一つ年度末ですね。年度末法案通らないと国民生活支障が出るっていうのいっぱいありますのでそのへんがポイントかなと言う気がしますね。」

駒田健吾「中継にもありましたけれど、9月の総裁選への影響はありますか？」

星浩「そうですね、麻生さんは安倍さんの屋体骨みたいなものですから、麻生さんの影響力が低下すれば勿論安倍さんの3選にも影響が出てくるということは必至でしょうね。ところで、国の公文書ですけど、公文書というのは国会審議とか国民の情報提供の基礎になるものですよ、それが政権の都合で書き換えられたとなると、民主主義のある意味で土台が揺らいでくるっていうことになるんですよ。それに対して政権とか今の与党には危機感というのが薄いような気がしますね。」

今回は放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかったが、政局報道としての性格を強めつつあるこの問題については、今後、各政治家がどのような紹介をされるのかであるとか、どの派閥の政治家の声が拾われるのかあるいは拾われないのか、という点を踏まえて「政治的公平」や「事実の報道」あるいは印象操作について注視していく必要があると考えられる。

・韓国高官来日：結論→特に問題なし

金正恩氏と会談した韓国の高官、徐薫国家情報院長が来日し河野外務大臣と会談したこと、4月末に行われる南北首脳会談や5月まで開かれる見通しの米朝首脳会談を通じて非核化に向けた北朝鮮の具体的な行動を引き出すため最大限の圧力をかけ続けていくことで一致したこと、拉致問題の解決に向けても日韓で連携していくことを確認したこと、徐薫氏は明日、安倍総理と会談する予定であることが報じられた。また、河野太郎外務大臣の「南北首脳会談や米朝首脳会談を通じて、北朝鮮から具体的な行動を引き出し意味のある対話にしていくことが必要である。」というコメントが紹介された。このトピックに当てられた時間は63秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・森友問題：結論→問題あり

星キャスターの「私の聞いたところではですね、佐川さんは財務省の中の調査に対して一つはその昭恵夫人の名前が出ていたこと、それからまあ事実上その価格交渉の部分があったのでそれが書き換えになった理由なんです、という趣旨を話しているっていうんですよね。まあその書き換えをしましたっていうことを今度、佐川さんが誰に報告をしてるかですよね、その報告を受けた人は勿論責任ありますよね。それからその以前に佐川さんは官僚ですからね、独断でこういうことをできるとちょっと私は思えないんですよね、誰が佐川さんに指示したか、このへんは佐川さんは国会にできてきちんと証言してもらわなければならないですね。」というスタジオでの発言であるが、これは当初は「佐川さんが誰に報告をしてるか」というのが問題である、としている。これは確かに問題

であり、仮に報告をしていたならば報告を受けた人にはもちろん責任があるのも当然である。しかし、「その以前に佐川さんは官僚ですからね、独断でこういうことをできるとちょっと私は思えない」というのを前提として加え、更に「誰が佐川さんに指示したか、このへんは佐川さんは国会にでてきてきちんと証言してもらわないと、まるで指示があったこと書き換えについて報告を行ったことが前提であるようにコメントしているが、このように仮定から出発して畳み掛けるように発言することは、視聴者に対して、そうした前提を所与の事実と勘違いさせてしまう恐れがあるのではないだろうか。

また、「官僚が独断で書き換えができるとは思えない」というのは星キャスターの主観でしかなく、推論を進める前提としてはやや弱いものであると考えられる。

#### 検証者所感

##### ・森友問題

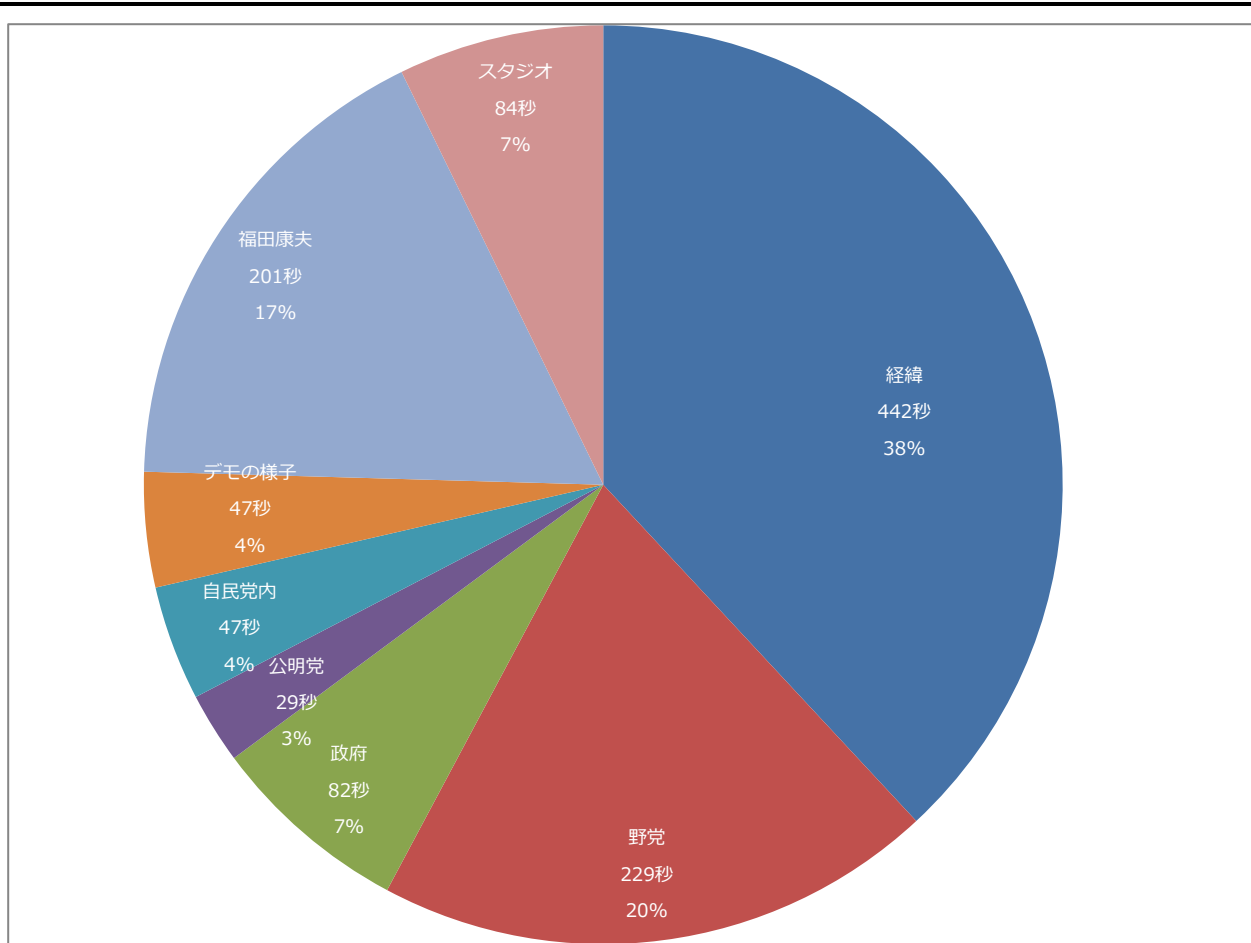
野党合同でのヒアリングでの福島みずほ参院議員の「はっきり言ってここまで財務省泥かぶる必要はないですよ、本件の特殊性は安倍夫妻じゃないですか」という発言であるが、本件の特殊性について、検証者は安倍夫妻ではなく土地の地下埋設物ではなかろうかと考えているが、「ここまで財務省が泥をかぶる必要はない」というのは同意である。これまでの安倍政権の政権運営や政策選好を振り返ってみても安倍政権の延命のために泥をかぶる理由や動機、メリットが財務省にはなく、だからこそ今回の財務省の対応については、安倍政権の延命や安倍夫妻への付度とは違うもっと別の理由があるように思う。こうした疑問は自民党ベテランが匿名で「なんで書き換えたかねえ、普通なら黒塗りにして出すかもっと早くにごめんなさいするべきだった。」というコメントに触れて一層深まった。自民党の匿名議員のコメントからは黒塗りにして出すなりもっと早くに謝っておけば収束したような問題だったと、その匿名議員は考えていることが伺える。今回の財務省の対応はそうせずに、財務省の対応の結果として、現に野党が攻勢を強めるのみならず官邸前ではデモが行われている。こうした事実を鑑みても、「政権への付度」として取り上げられる報道には視聴していて、どうしても腑に落ちなかった。



# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年3月13日
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙		
検証テーマ：トランプ大統領の国務長官人事、森友学園問題、民法改正、北朝鮮と拉致被害者 中国全人代、成田空港の新滑走路		
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トランプ大統領、国務長官人事</li> <li>・森友学園問題</li> <li>・民法改正</li> <li>・北朝鮮と拉致被害者</li> <li>・イギリスで元スパイ意識不明事件、メイ首相「ロシアが関与」と発言</li> <li>・中国全人代</li> <li>・女子レスリング、パワハラ問題</li> <li>・成田空港、新滑走路</li> <li>・シュプリームのTシャツをめぐる、中国籍男性の集団暴行</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> </ul>		
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トランプ大統領の国務長官人事：結論→特に問題なし トランプ大統領が13日午前、Twitterに「CIAのポンペオ長官が新たな国務長官になる、素晴らしい仕事をやるだろう」と突然紹介した上でティラーソン国務長官については職務に感謝すると短く語り解任を表明したこと、正式な大統領声明でもポンペオ氏の経歴などを長く紹介しポンペオ氏も意欲を述べているのに対して、ティラーソン氏の発言は取り上げられておらず、異例の冷遇ぶりであることが報じられた。このトピックに当てられた時間は137秒で放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。</li> <li>・森友学園問題：結論→不十分 森友学園問題について報じられた。このトピックに当てられた時間は1126秒で、報道の中では経緯の説明、野党の動き、麻生大臣の責任論に対する政府の反応、公明党の声、自民党内の声、デモの様子、福田康夫元首相へのインタビュー、スタジオでのやり取りの大きく8つのポイントがあった。それぞれのポイントについての時間配分および比率は以下の通りだった。</li> </ul>		





経緯の説明では財務省が改竄に当たり本省から近畿財務局に指示があったことを認めたこと、今日も国会では政府の説明に納得できないとして野党が審議を欠席していること、野党側は佐川前国税庁長官や安倍昭恵夫人の証人喚問を求めているこの要求が受け入れられない限り審議に応じない姿勢であること、財務省は国会さらに会計検査院だけでなく大阪地検へも改竄後の文書を提出していたこと、国交省は改竄がまだ疑惑の段階だった今月5日にその文書を財務省に対して提供していたということが報じられた。また、福田康夫元首相インタビューを承けて、安倍政権では公文書を巡る問題が相次いでいることとして、加計学園問題では総理のご意向などと書かれた文書の存在が指摘されたことや、防衛省は南スーダン PKO の日報を隠蔽し当時の稲田大臣が引責辞任に追い込まれたことが説明されたほか、これらの問題をめぐっての過去の国会答弁や官房長官会見の映像が取り上げられていた。加えて、番組の最終盤では、駒田キャスターから「森友学園を巡る決裁文書の改竄問題で財務省は既に公表した14の文書の他に2017年6月に森友学園関連のメモを削除していたと発表しました。このメモは近畿財務局が削除したということです。財務省は昨日、国会への報告で書き換えがあったのはこれが全てだといいました。財務省では一連の改竄とは関係ないとしています、既に明らかになっている改竄よりも前から公文書などの削除が行われていたことになります。」と最新情報が伝えられた。

野党の動きでは希望の党の玉木雄一郎代表の「強い政権にお仕えする、ということで政府与党に対する間違った協力の仕方をしてしているのではないのか、政と官のあり方ということについても深く強い懸念を持っています。」という記者会見でのコメントや、希望の党の山井和則衆院議員の野党合同でのヒアリングでの「昨日麻生さんは

ね、佐川局長の答弁に合わせようとしたと言うけど、それは真っ赤なウソでね、本質はここにある 2月 17日の安倍総理の答弁が全てなんですよ。」「もういい加減ね、安倍総理のために財務省も日本の国もめちゃくちゃにするのはやめてくださいよ。亡くなっているじゃないですか、職員の方は、無念の死ですよ。」というコメントが取り上げられた他、野党合同でのヒアリングでは以下に朱記した 2つのシーンでのやり取りが取り上げられていた。

### 【シーン 1】

今井雅人(希望の党衆院議員)「こういうメモが残っているということが今日読売の夕刊にこれからでます、まずちょっとこの点について事実関係を教えていただきたいと思います。

ナレーション「読売新聞の夕刊を片手に財務省の官僚に迫る野党議員、問題にしたのは読売新聞が掲載した記事、自殺したとみられる近畿財務局の職員が、本省の指示で文書を書き換えさせられたという趣旨のメモを残していたと報じたのです。」

富山一成(財務省理財局次長)「その点につきましては、職員個人のことでございますので、コメントは差し控えさせていただきますと思います。」

今井雅人「この職員の方もこの部分には関わっておられたのかとお伺いしているんですけども。」

富山一成「本件のこの書換に関わったか関わってないかも含めて職員全体の調査をしています。」

ナレーション「記事の内容を承知していないと繰り返した財務省、一方で改竄に当たり財務省の本省から近畿財務局に指示があったことは認めました。」

富山一成「まさに、本省の理財局が中心となって必要に応じて近畿財務局に指示をして、書き換えをしているというような実態は認識しております。」

今井雅人「近畿財務局の人自らが物理的に換えているんですか、指示を受けて。」

富山一成「近畿財務局の職員に指示をして書き換えをしているという事例がございます。」

### 【シーン 2】

ナレーション「今月 5日の時点で改竄前の文書の一部を提供されながら、なぜすぐにその存在を明らかにしなかったのか。」

福島みずほ(社民党党首)「国会になんであんな嘘ついたのかってことなんですよ、嘘だって分かっているじゃないですか。」

今井雅人「5日に出た時点で、改竄されたものが存在するかもしれないなということをご認識されましたよね。」

富山一成「そういうことなんです。」

今井雅人「そうですよね、どうしてそのことをおっしゃらなかったかということなんです。」

富山一成「調査をしている途中でこれが見つかりました次はこれが見つかりました、というのを一個一個ご報告する、というやり方もあるのかもしれませんが、やはりそれは我々としては責任を持って、大臣指示でやっていますので、トータルとして財務省として責任を持って確定できたという段階で昨日出させていただきます。」

麻生大臣の責任論に対する政府の反応では河野太郎外相の「国民に信頼していただける政府になるために必要な手段というのを、あらゆる手段というのをとっていかなければならないというふうに思っています。」というコメントに対し、記者が「麻生大臣は自任する必要性はないというふうにお考えでしょうか。」と質問しそれに対してさらに河野外相が「それは私が考えることではありません。」と答えるシーンや野田聖子総務相の「もう二度とこういうことを起こさないためにはどうしたらいいか考えること、これはやはり麻生大臣にやっていただく、そ

してその後、後についてはやはりご自身のご判断だと思います。」というコメント、麻生太郎財務相「原因究明と再発の防止というのは大臣として与えられている仕事だと思いますけれどね、今。」というコメントが取り上げられていた。

公明党の声では山口那津男代表の「理財局長であった佐川氏の関わり方というのは重大な関心が集まっておりますので必要性があれば国会として、国会に来ていただくような決定をするようなことも考えられるだろうと思いますけれど。」というコメントが取り上げられていた。

自民党内の声では村上誠一郎元行革担当相の「正直に申し上げて、今回の問題は財務省の中だけで判断ができる内容ではないということをですね、みんな心の中で肝に銘ずるべきじゃないかと。はっきり申しまして全部出発点は私安倍さんだと思っているんですよ、だから安倍さんは今回のいろいろな一連の問題について前から申し上げているように李下に冠を正さずじゃないけれどもそれに対するやっぱりトップとしての責任をもっと猛省していただきたい。」というコメントが取り上げられていた。

デモの様子では、デモの映像や参加した女性の「近畿財務局の方も自殺をされたりして、大変なことになっているのに安倍内閣は全く他人事のように振る舞っていて」、参加した別の女性の「子供たちにこんな国のまま子供たちを育てていくことはちょっと申し訳ないと言うか、だって学校の成績を書き換えました、とかそんな事許せないですよ、だって子供に説明できないじゃないですか。」というコメントが取り上げられていた。

福田康夫元首相インタビューではインタビュアーの星浩キャスターと福田康夫元首相の間に以下に朱記した3つのシーンでのやり取りが取り上げられていた。

#### 【シーン1】

ナレーション「明らかになった公文書の改竄、これが民主主義の根幹に関わる問題だと指摘する人がいます。自民党の重鎮、福田康夫元総理です、今回改竄が発覚した文書を見てもらうと、」

福田康夫元首相「これはね、決裁文書書き直すっていうのは関係部署全部きちんと報告しなければだめですよ、いい加減だったよね、いい加減だったというのは舐めてるよね、これはいえる、舐めてる。」

ナレーション「実は福田元総理は公文書管理のルールを定めた公文書管理法の生みの親、奇しくも法律が成立したのは福田内閣の後の麻生政権時代でした。その第一条には公文書の役割がこう記されています。」

音声「健全な民主主義の根幹を支える国民共有の知的資源」

福田康夫「国民の一人ひとりが、正しい事実を知らないでね、そして選択はできないはずですよ。だからその材料を提供する、後世の方々にね、遺産として残していくっていうこと、要するに歴史を作っていくということなんですよ、大げさに言えばね。」

ナレーション「民主主義を支え歴史を記録するために作ったという公文書管理法、しかし文書そのものの改竄は想定外だったと言います。」

福田康夫「公文書法を、これを制定するといったようなときにおいて私自身がそういう場面をというのを想定していなかった。」

星浩「性善説と言うかそういうことはあまり想定していないで。」

福田康夫「公務員としての良心、というものを皆さんがお持ちであるということを前提にしてこの法律はできているというように思います。」

#### 【シーン2】

星浩「役人の目が官邸の方に向いていると言いますかね、これが付度につながるケースにあるような気がしますけれども、」

福田康夫「付度を過度にしなければいけないという環境を作ってはいけないということです。その中に今おっしゃったように官邸主導の人事ということもはいつてくるかもしれない、そのところは政治の方もよく考えなければいけないですね。」

ナレーション「更に安倍総理や麻生大臣の責任について問うと。」

福田康夫「去年の2月にこの議論というのは始まったんですよ、去年は半年しか国会議論していない、そして中心課題はこれだったということになれば、やはりこのことを皆さんがもっと深刻に考えるべきなんですね。」

ナレーション「1年以上続く国会の混乱に対する政治的責任に言及しました。」

スタジオではVTRを承けて、以下に朱記したやり取りが繰り返された。

駒田健吾「公務員の良心という言葉が響きますよね。安倍政権では今回以外にも文書管理で問題が続いています。南スーダンPKOの日報、そして加計問題では総理のご意向と書かれた文書、さらには記憶に新しい裁量労働を回るデータの原票、始めはないと言っていたものが後から見ついているんですよ。」

星浩「役所がなんか自分の都合で文書があるかないかを解釈してたということですよ。福田さんも言いましたけど、公文書というのは国民共有の財産ですから、それを勝手に廃棄したり改ざんするというのはもっての外だということですよ。」

雨宮塔子「そして、今日は国交省は以前から改竄前の文書を保管していたということを明らかにしました。」

星浩「そうなんですよ、国交省は2日に開示されているものじゃない文書があることに気がついて5日にご丁寧に財務省にコピーまで渡して財務省はそれを公表しなかったということなんですよけれども、国交省はこの段階でアピールすべきでしたよね、憲法には公務員とは全体の奉仕者であって一部の奉仕者ではないということなので、国交省の対応っていうのは果たしてどっちを向いていたのかな、財務省もしかりですよ。」

連日、「財務省が安倍総理や官邸に付度をした」といのが既定路線であるかのように報じられているが、特に政策や政局に興味関心のある視聴者からすると「そもそも、財務省には安倍総理に付度をする義理や動機があるのか」というのは疑問であると思う。これまでの安倍総理の増税延期や官邸人事などを見ていると、財務省が特別に優遇されているわけでもなくむしろ、財務省の地位の相対的な低下すら囁かれている。こうした中で財務省が政策の円滑な実施を超えて安倍政権を守るというところまで付度する必要も義理もないだろう、という見方は成り立つ。しかし、報道では安倍政権を守るために過度な付度があったのだ、という声ばかりが取り上げられ、それが既定路線であるかのような報じ方がなされている。そして付度の背景として内閣人事局が挙げられていたが、今回の佐川理財局長への人事についても、政権運営を考えた際に物議を醸している人物を国税庁長官に据えることはマイナスだという見方もあり、にもかかわらずそうした人物を国税庁長官に据えたこと、理財局長から国税庁長官への転任は財務省内でも有力な慣例であること、他府省についても未だに旧〇〇省と旧××省のたすき掛け人事などが人事の季節には言及されていることを踏まえると、内閣人事局というのは実はそこまで機能していないのでは、という見方もできる。ここは一步立ち止まって、そもそも野党が主張しているほどの付度を働かせる力が内閣人事局にあるのかという問題や財務省に安倍政権を守るための付度をする理由があるのか、という点についても検討が求められているといえるだろう。そうした点を踏まえると、放送法第四条の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点では非常に不十分なもので

ある。他の放送日についても注視したい。

・民法改正：結論→特に問題なし

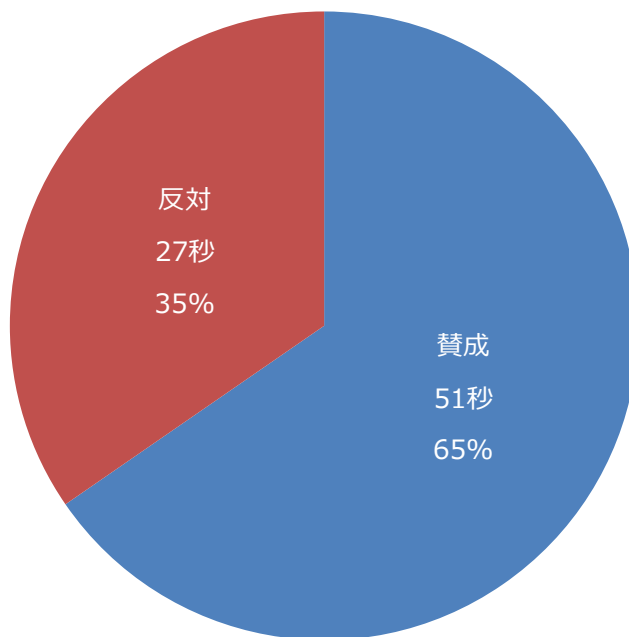
政府は今日の閣議で成人年齢が 20 歳から 18 歳に引き下げる民法の改正案を閣議決定したことが報じられた。このトピックに当てられた時間は 72 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・北朝鮮問題：結論→特に問題なし

安倍総理は今日、北朝鮮を訪問した韓国特使団のソフン国家情報院長と会談し非核化に向け北朝鮮の具体的な行動を引き出せるよう緊密に連携していくことで一致をしたこと、両者は南北首脳会談と米朝首脳会談が成功するよう協力していくことでも一致したこと、日本政府は今後ソフン国家情報院長から聞き取った金正恩党委員長の非核化についての発言内容を詳しく分析する方針であることが報じられた。また、拉致被害者の地村保志さんが過当拉致問題担当大臣と面会して、米朝関係に動きが見られる今こそ、拉致被害者の救出に尽力してほしいと要請したことや地村保志さんの「トランプ大統領も自ら拉致問題かけてますので首脳会談の際にはその問題出していただきたいと思います。」というコメントも紹介された。このトピックに当てられた時間は 118 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題は見られなかった。

・中国全人代：結論→特に問題なし

一昨日の全人代で憲法の改正案が採決、習近平氏は制限なくトップにとどまることが可能となったこととそれに対する中国人の反応が報じられた。このトピックに当てられた時間は 212 秒で、改正案についての賛否の時間配分および比率は以下の通りだった。



賛成の意見では大学生の「次々と変わると我が国の改革は上手く続けられないかもしれない」というコメントや質問「時代の逆行では？」という質問に対して女性が「違う、中国には中国の特徴がある、外国は外国。」と答える場面が取り上げられた。また、北京郊外にある農村で壁に習近平国家主席のポスターを飾る民家の住民の「夜にも電気をつけて彼を見てますよ。国からお金受け取っているし、こんな豊かな生活はないよ。」「彼を崇拜している。とても正直ですよ。」というコメントが取り上げられ、これについてナレーションの「反腐敗や脱貧困などの政策によって生活が向上していると集主席を評価している声が多く聞かれます。」とする場面があった。

ナレーションの「北京で100人に今の政府に期待しているかと訪ねたところ9割以上が期待していると答えました。ただ、これが本音かどうかは分かりません。中国で政治は敏感な話、公に批判を口にするのは難しそうです。それでも聞き続けると任期撤廃についてこんな意見も」という前置きを承けて反対意見については男性の「必ず独裁になる。」、大学院生の「任期を自由に設定すれば我が国は長い間経った一人の意思決定で動くことになってしまう。この憲法改正は恐ろしい。」、大学生の「今、任期撤廃を導入したら時代に逆行してしまう、過去に戻ってしまう感じがします。」というコメントが取り上げられた。

なお、賛否どちらでもない意見として男性の「私達にとっては関係ないよ。上の指導者を私達が左右することはできないさ。我々はただ働いてお金を稼ぐことしかできないですから。」という意見も取り上げられた。

今回は賛成に偏った結果になっていたが、「中国で政治は敏感な話、公に批判を口にするのは難しそうです。」という状況からも、仕方のないものであり、放送法上の問題はなかったといえる。

・成田空港の新滑走路：結論→特に問題なし

今夜行われた千葉県と周辺自治体、国交省、空港会社による協議会で、新たな滑走路は現在のB滑走路の南側に建設され完成後に発着時間が二時間半拡大するとの合意に至ったこと、これにより年間の発着枠は現在の30万回から50万階に増える見通しであることが伝えられた。このトピックに当てられた時間は33秒で、特に争点はなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・森友問題：結論→問題あり

星キャスターの「そうなんですよね、国交省は2日に開示されているものじゃない文書があることに気がついて5日にご丁寧に財務省にコピーまで渡して財務省はそれを公表しなかったということなんですけれども、国交省はこの段階でアピールすべきでしたよね、憲法には公務員とは全体の奉仕者であって一部の奉仕者ではないということなので、国交省の対応っていうのは果たしてどっちを向いていたのかな、財務省もわかりですよ。」というコメントであるが、文書を国民に対してアピールするのではなく財務省にコピーを渡した国土交通省について「憲法には公務員とは全体の奉仕者であって一部の奉仕者ではないということなので、国交省の対応っていうのは果たしてどっちを向いていたのかな」とコメントし、「財務省もわかりですよ」と国土交通省から受け取った文書を公表しなかった財務省を同列に並べてコメントしていた。確かに、国民に公表するのではなく財務省に文書のコピーを渡すという国土交通省の姿勢も受け取った文書を公表しなかった財務省の姿勢も国民に向いていたものではないということはいえるだろうが、文書の授受が行われた両省の向いている方向は同じではなく、国交省は文書を官邸に渡さなかった文書を財務省には渡していることから、少なくとも官邸よりも財務省

を向いていたものだと考えられる。しかし、こうした国交省の姿勢への批判に「財務省もしかりですよ」と並べることで、国交省が財務省を向いているとしか思えない事実があるのに、視聴者に対しては国土交通省も財務省も官邸という同じ方向を向いているかのような印象を与えるおそれがある。

### 検証者所感

#### ・森友問題

先週の放送では、決裁文書の責任所在を巡って足立信也参院議員の「国有地売却の決算書責任者は誰なんですか」という質問に対して太田理財局長が「近畿財務局の管財部の次長でございます。」と答えるシーンが取り上げられていた日があったが、そもそも本省ではなく地方の出先機関の一部局の次長決裁の文書が財務大臣や官邸まで上がってくるのか、というのは疑問であり、仮に上がってこないのであれば指示の出しようがないと思うが、そのあたり、実際のところはどうか疑問である。

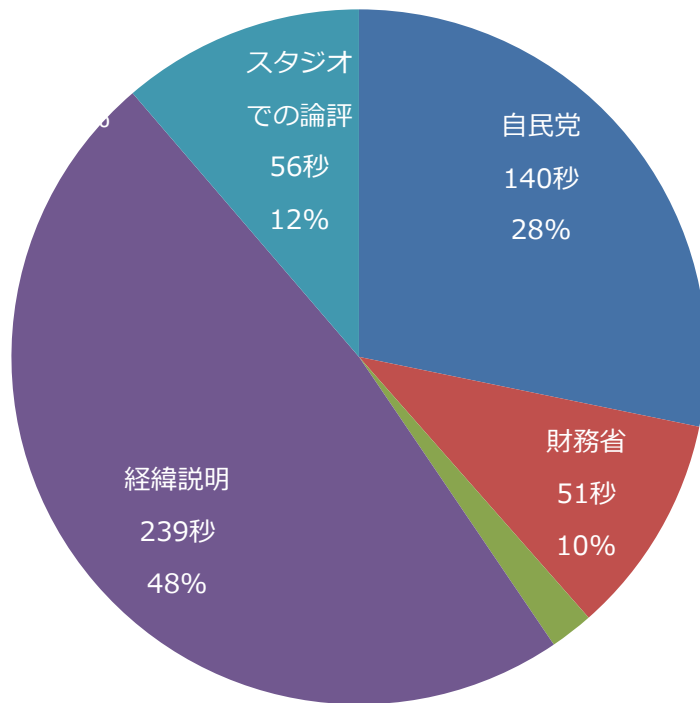
また、今回の財務省の問題について「財務官僚が自ら行うとは思えない」とする声を取り上げられることは多いが、不正については、米国の犯罪学者である D.R.クレッシーの提唱した不正①動機（不正を働く動機）②機会（不正を働く機会）③正当化（不正を働く口実）の3つが、あたかも三角形のようにトライアングルで構成され、この「動機」「機会」「正当化」の3つの条件が揃った時に不正が発生するという不正のトライアングル理論が知られている。この理論を援用して考えると、今回の佐川局長の答弁と資料の間での齟齬は不正の動機になるだろうし、肥大化しかつ専門分化された行政国家では議員による行政監視あるいは政務三役による行政監督が行き届きにくいということに加えてそもそもの問題となった決裁文書が地方の出先機関の一部局の次長決裁であるという点は不正の機会に該当するだろう。そして、本省にとっては理財局を守るという組織防衛ということが口実になるならばその点は正当化に該当するだろう。

このように考えると、「付度」ではなく「組織防衛」として官僚機構が自律的に不正を働いたという説も付度説に対抗しうる一定の有力性を備えていて、検討するべきであると考えられる。



# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年3月14日
出演者：星浩、雨宮塔子、皆川玲菜、駒田健吾、宇内梨沙		
検証テーマ：森友問題、賃上げ「3%」多くの企業で届かず、憲法9条改正で自民7案		
報道トピック一覧		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・オウム死刑囚「分散移送」</li> <li>・森友問題</li> <li>・賃上げ「3%」多くの企業で届かず</li> <li>・ロシア人元スパイ襲撃事件</li> <li>・憲法9条改正で自民7案</li> <li>・ホーキング博士逝く</li> <li>・李明博大統領出頭</li> <li>・市役所で男女4人が刺される</li> <li>・河川敷に女性遺体</li> <li>・スポーツ</li> <li>・天気予報</li> <li>・アスベスト訴訟</li> </ul>		
放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨		
<p>・森友問題→結論：放送法第4条第1項4号に照らし合わせると不十分</p> <p>森友問題について野党が欠席する中参議院で集中審議が行われたことについての報道。また正常化を図るため与党側から佐川前国税庁長官の国会招致を提案し野党側もこれに応じたことも報じられた。同報道では主に自民党議員の発言や財務省職員の応答、維新の会議員による発言、経緯説明、スタジオでの論評と5つに分類することが出来た。以下がその比率及び時間である。</p>		



経緯説明としては総理官邸前において3日連続で行われているデモの様子が紹介されている中、明恵夫人が同時刻にスリランカの大統領夫妻との晩餐会に出席していたことが冒頭で紹介されていた。また「その佐川氏の証人喚問を巡って、動きが。自民党の二階幹事長が野党に対し、佐川氏の国会招致を容認する考えを伝えたのです。ただ明恵夫人の招致は拒否しました。野党側は証人喚問の実現に向け、一步前進だと受け止めています。与党側はこれを機に国会を正常化させたい考えですが、野党側は引き続き明恵夫人の証人喚問のほか、麻生大臣の辞任を求めている、事態收拾の目途はたっていません。」と野党側が頑なに明恵夫人の証人喚問を要求している様子も報じられた。

自民党の発言としては西田昌司参院議員の安倍総理大臣に対する「(夫人が)この土地が良さそうだから進めて下さいと言われたことがあったのか？」といった質問や「なんでそのことを我々与党にも国会にも政府にも報告しないんだね。報告していれば当然国会対応変わるんですよ。こんな事態にならない。野党が出てこないような異常事態にならないんだよ。何で報告しなかったんだよ。」といった財務省の職員を詰問するシーン等が取り上げられていた。

財務省の発言としては太田充理財局長の「国会を冒涇するものであるとのご批判は免れないものと考えております。大変申し訳ありません。深くおわび申し上げます。」という冒頭でのお詫びの発言や「佐川局長の関与と言いますか、度合いと言いますか、そういうものは大きかったのではないかと私どもとしては思っています。」という一連の事件における佐川前長官の関与を匂わせる発言が紹介されていた。

維新の会の発言は片山大介参院議員の「総理のお言葉に合わせるように付度されたのではという指摘がある。これについてどのようにお考えですか？」という質問のみが紹介されていた。

全体を受けたスタジオの論評としては星浩キャスターの「今回の文書の改ざんは行政が立法府に対し嘘をついたということですから、本来ならば与野党が一致して、きちんと真相解明をすることをやっていかなきゃならんですよ。かつてロッキード事件とかリクルート事件とかあったんですが、そのときに特別委員会というのが出来まして、真相解明とか、資料収集に当たったんですが今回も特別委員会でやったらどうだと、徹底的に真相解明をやったらどうだというのが与野党にあるんですね。今回の文書は民主主義の土台を崩す事件ですので、そのくらいの覚悟があっても良いと思います。」という発言や番組後半部においての「佐川前局長の証人喚問がようやく来週にも行われることになりましたね。国会の権威を取り戻すためにも真相解明に全力をあげてもらいたいですね。」といった発言など真相究明を強く求める発言が紹介されていた。

野党欠席という異常事態のため致し方無い点もあるが、発言の政党別で発言を振り返ってみると野党の発言が皆無であり、これは放送法第4条第1項4号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること。」に照らし合わせると不十分であると結論する。

・賃上げ「3%」多くの企業で届かず→結論：他の放送日との総合的判断が必要

安倍総理が「3%」を目標としていた春闘が多くの企業で達成できなかったことについて報じられた。番組冒頭では都内のもんじゃ焼きチェーン店が紹介され、給料の支払い方や賃上げで従業員をつなぎとめている様子や、穂崎芳幸社長の「賃上げに関しては慎重にならざるを得ない。」といった発言が紹介されていた。

また居酒屋などで社員に直接取材の様子も報道され「金がないので遊べない。」「節約しながらも貯金が出来ない、最悪なパターン。」と言った発言が紹介された。そして一連の賃上げに慎重な企業の姿勢の原因として「昨日、突然国務長官の解任を告げたトランプ大統領。先週、アルミや鉄鋼の輸入制限に署名。日本企業への影響が懸念されています。こうした海外の問題だけでなく、国内では少子高齢化が進行、将来不安に備えるため、企業はお金を貯めこんでいるのです。」と報じていた。

その他に残業代の減少による影響も紹介され「120円の串カツをほおぼる社員の男性。政府が進める働き方改革で残業が減り、これまで頼りだった残業代が激減したといいます。」というナレーションや、社員男性の「(今の手取りは)15~16万くらい。(以前は)残業したら25万円。」という発言が報じられた。

スタジオの論評では星浩氏の「そうですね。政府の号令に合わせて今回も3%に近づけようという企業も出ているようですが、今日回答があった大企業のそれも正社員ですよ。非正規の方、全体の4割くらいを占めるんですが、その人たちは非常に低く、まだ給料抑えられてますからね。それからそもそも給料というのは、労使で交渉して決めるのが本来の姿ですよ。それで経営者は頑張って創意工夫して業績を上げて、それを従業員に配るといことなので、政府が音頭を取って給料を上げるってこと自体がちょっと異常なんだということは、労使とも自覚する必要があると思いますね。」という指摘でまとめられていた。

経営者側の意見や従業員側の意見を双方取り上げていた点については評価できるものの、今までの裁量労働制の議論等において残業に否定的な見解を示していたにもかかわらず、今回は残業時間の低下による残業代減少を懸念する報道がなされていた。賛否が分かれる点は殆ど見られなかったものの、他の放送日と総合的に判断した場合放送法4条第1項2号の「政治的に公平であること。」に抵触する可能性があり、注視する必要があると判断する。

・憲法 9 条改正で自民 7 案→結論：放送法第 4 条第 1 項 2 号の観点から不十分

自民党の憲法改正推進本部が焦点の 9 条について 7 つの条文案を出したものの、森友文書の問題から議論が滞っているとの報道。自民党内からの声として石破茂元防衛相の「森友の問題で国民の皆さんが「そうなのか、よく分かった。」と得心して、わが党に対する信頼を回復する方が順番から言えば先という考えもある。」という発言や、小泉進次郎衆院議員の「憲法改正は今までやったことないですからね。信頼がなきゃ出来ませんね。以上です。」といった発言が紹介された。またスタジオでは星浩氏が「自民党の憲法改正推進本部の船田元さんに聞いてみたんですが、自民党の改正案のとりまとめは遅れているようですね。」と船田元議員から得た情報を紹介していた。

また同報道で印象操作の疑いがあったため上記の結論とした。具体的な内容としては下項目に記す。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

・森友問題→印象操作の疑いが強い

「総理官邸前で 3 日連続で行われているデモ。今夜も若者たちが抗議の声を上げました。」との報道があったが、画面を見る限りでは多くが中高年層であり番組の通り若者が中心であったとは判断し難い。その直後には安倍総理が乾杯の音頭を取ったスリランカ大統領夫妻との晩餐会の様子を報道し、デモ隊との対比をさせるかのような構成がなされており、印象操作の疑いが強いと結論する。

・賃上げ「3%」多くの企業で届かず→結論：印象操作の疑いあり

「国会で審議されている罰則付きの残業規制が導入されると、およそ 3%の給料が減るとの試算も。つまり 3%の賃上げが行われなければトントンにもならず、手取りが減ってしまいます。さらに追い打ちをかけるのが値上げ。今月以降控えているのが、ビールや納豆、冷凍食品、光熱費まで、生活に関わる幅広いものが値上げされます。」との報道で、下に示した解説図として 1 万円紙幣を棒グラフに見立て残業規制によって収入が減るかを解説していた。



しかし3%としては明らかにグラフの減少が大きく、視覚的な見やすさを優先したと擁護できなくはないものの、一般の視聴者に残業規制による給与の減少が極めて大きくなるような印象を与えかねず、印象操作が疑われると判断する。

- ・ 憲法9条改正で自民7案→結論：印象操作の疑いあり

ナレーション部において「陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。」との条文を読み上げる際に自衛隊の観閲式と思われる映像の陰影を強くして流されていた。これは憲法改正の議論に映像通り暗い印象を与えかねないものであり、印象操作の疑いがあると言える。

#### 検証者所感

- ・ 賃上げ「3%」多くの企業で届かず

裁量労働制の議論にあたって、過度な残業による過労死の問題を取り上げていたにもかかわらず、今報道では残業減少による収入の低下を指摘していた点が気になった。良い意味で考えれば両面を捉えた報道であるともいえるし、悪い意味でいえば支離滅裂である。

- ・ 憲法9条改正で自民7案

自民党の石破茂氏が「元防衛相」としてテロップで紹介されていた。しかし森友問題での報道において、石原伸晃、岸田文雄両氏がそれぞれ派閥会長として報じられている中、石破氏が石破派会長として紹介されていないのは、情報の提示の方法としては些かアンフェアのように感じた。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年3月16日									
出演者：【キャスター】皆川玲奈、駒田健吾、雨宮塔子、星浩、宇内梨沙											
検証テーマ：森友文書改ざん問題、前川氏授業に文科省の要請、ロシア大統領選											
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜の開花宣言</li> <li>・森友文書改ざん問題</li> <li>・前川氏授業に文科省が記録提出を要請</li> <li>・アマゾンに立ち入り調査</li> <li>・【セカイは今】ロシア大統領戦</li> <li>・トイザラス全店閉店</li> <li>・伊調氏パワハラ告発 栄氏所属大学の学長が会見</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> <li>・藤井六段が今年度 60 勝</li> </ul>											
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森友文書改ざん問題→結論：放送法第四条第四項に抵触する可能性がある。</li> </ul> <p>森友文書の改ざん問題に関して、野党の追求と同時に与党からも批判の声が挙がっていることが紹介された。批判の声として石原伸晃議員、岸田文雄議員、後藤田正純議員の3名。また、文書の改ざん前と改ざん後を官僚出身の議員複数名に見比べ、そこに浮かび上がる違和感についてコメントがされた。コメントしたのは寺田稔議員、野田毅議員、玉木雄一郎議員の3名。</p> <p>森友文書改ざん問題で自民党内部から出た批判の発言として石原議員が「言語道断。ひどいという一言に尽きる。」岸田議員が「今回の問題が幅広い分野にわたって大きな影響をもたらすのではないか。」後藤田議員が「(安倍首相の責任も?) そう。それはちゃんと説明するべきですよ。この一、二年で森友・加計問題で何十時間の時間が浪費されたか。それは与党であってもありえない話だと思います。その責任、原因を作った人は誰なんですかと。」とそれぞれが発言した。</p> <p>このトピックに関して政府の立場を説明した部分を賛成、政府を批判するコメントを反対として時間計測を行った。時間計測の結果は以下の通り。</p>											
<table border="1"> <caption>時間計測の結果</caption> <thead> <tr> <th>意見</th> <th>時間 (秒)</th> <th>割合 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賛成</td> <td>71</td> <td>42%</td> </tr> <tr> <td>反対</td> <td>100</td> <td>58%</td> </tr> </tbody> </table>			意見	時間 (秒)	割合 (%)	賛成	71	42%	反対	100	58%
意見	時間 (秒)	割合 (%)									
賛成	71	42%									
反対	100	58%									

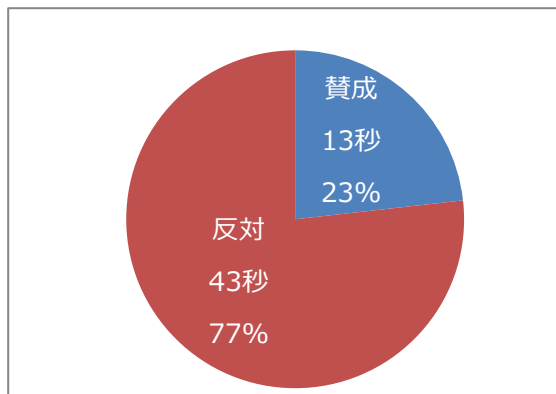
反対側にやや偏りが見られるものの、大きな偏りは見られなかった。

本トピック内においては複数の議員が改ざんについてコメントを行ったが、石原伸晃氏と岸田文雄氏は各派閥の会長として紹介されているのに対し、後藤田氏、寺田氏、野田氏に関しては所属派閥が紹介されなかった。党内政局の問題として今トピックが報じられた性質を考えるとこれは不適切であるといえる。各議員の所属派閥は上記のとおりだが、いずれも安倍首相と近いとは言えない派閥の議員である。これは、議論に一定度のバイアスをかける意味で放送法第四条第四項（意見が対立している問題に関してはできるだけ多くの角度から論点を明らかにすること）に抵触するおそれがある。

- ・前川氏授業に文科省の要請→結論：放送法第四条第二項に違反する可能性がある。

前川喜平前文科省事務次官が名古屋の公立中学校で講演を行ったことに対して文科省が講演内容と録音記録の提出を求めたことが報じられた。

今トピックにおいて文科省の立場を説明したコメントを賛成、文科省の行動に批判的なコメントを反対として時間計測を行った。時間計測の結果は以下の通り。



結果を見ると、時間比率に大きな偏りがみられる。これは放送法第四条第二項（政治的に公平であること）に違反する可能性がある。

このトピックにおいて文科省の該当部署の淵上孝課長は天下りの問題などで停職相当という方が公教育の場で授業をされたと。」と発言し、文科省の立場を説明した。

これに対し寺脇元文科省審議官は「教育の国家統制になっていくわけじゃないですか。その反省を基に戦後の教育というのは成り立っているわけだから。いわゆる役所がこれはやっちゃいけないということが壊れてきてしまっている。とにかく異常。」とコメントし、文科省の対応を批判した。

また、スタジオでは星浩キャスターが「教育委員会を通じて問い合わせているといっても、事実上授業内容に口出ししているのと同じです。現場からすれば国の考えに従えと言われてるように受け止めかねないですよ。一定の枠の中で色々な人の考え方を聞いて判断していくというのが教育のあるべき姿だと思います。文科省が口出しをするような話ではないと思います。」とコメントし、こちらも文科省の対応を批判するコメントであった。

- ・ロシア大統領戦→結論：特に問題は見られず



ロシア大統領戦に関してプーチン大統領陣営が投票率・得票率ともに 70%台を目指していることとその達成に向けた取り組みが報じられた。取り組みの内容としてはプーチン氏の大会に平昌オリのメダリストであるザギトワ氏、メドヴェージェワ氏を臨席させたこと、選挙投票を呼びかける映像、投票した若者に対して国が音楽ライブチケットを配布することなどが紹介された。また、目標設定の目的として前回選挙が逆風下であった反省を踏まえ、政権に正当性をもたらすためという解説が為された。このトピックに当てられた時間は秒で、放送法第四条の観点から特に問題は見られなかった。

最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨  
特になし。

検証者所感

・森友文書改ざん問題における玉木議員のコメントについて。

森友学園の改ざん問題に関する報道の中で、玉木議員が改ざんした官僚の心情を慮り、「最後の抵抗というか。自分なりの。特例は行政としての判断というよりもむしろ、政治の判断ということ、こういう形で残したかった。ある種の悲鳴のような叫びかもしれない。」と発言したことについて。

玉木議員のコメントは事実に基づくものではなく、根拠がどこにも存在していない。文字通り官僚の心情を慮ったものでそのコメント全てが推測でしかない。これを文書を改ざんした目的のように報じることは報道機関としていささか問題があると感じられる。

# NEWS23 週刊報告 詳細版

テレビ局：TBS	番組名：NEWS23	放送日：2018年3月16日																					
出演者：星浩、雨宮塔子、駒田健吾、皆川玲奈、宇内梨沙																							
検証テーマ：森友学園、前川前次官と文科省、北朝鮮、原発訴訟、皇室																							
<p>報道トピック一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京、多摩市で殺人事件</li> <li>・森友学園</li> <li>・前川前次官と文科省</li> <li>・北朝鮮外相がスウェーデンを訪問</li> <li>・原発被害者の集団訴訟</li> <li>・日本の異状死、死因不明でも少ない解剖</li> <li>・スポーツ報道</li> <li>・天気予報</li> <li>・皇太子さま、ブラジルへ</li> </ul>																							
<p>放送法第4条の見地からの検討・検証および該当トピックの報道内容要旨</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森友学園問題：結論→問題あり</li> </ul> <p>森友学園問題について報じられた。このトピックについてあてられた時間は465秒で、今回は経緯説明、麻生財務大臣の対応、自民党の質疑、野党の質疑、デモの様子、スタジオでの論評という六点に焦点の当てられた報道だった。なお、それぞれのポイントにスポットのあたった時間配分及び比率は以下の通りであった。</p>																							
<table border="1"> <caption>放送内容の時間配分と比率</caption> <thead> <tr> <th>トピック</th> <th>時間 (秒)</th> <th>比率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経緯説明</td> <td>188</td> <td>40%</td> </tr> <tr> <td>スタジオでの論評</td> <td>89</td> <td>19%</td> </tr> <tr> <td>麻生財務大臣</td> <td>99</td> <td>21%</td> </tr> <tr> <td>自民党</td> <td>40</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>野党</td> <td>26</td> <td>6%</td> </tr> <tr> <td>デモの様子</td> <td>23</td> <td>5%</td> </tr> </tbody> </table>			トピック	時間 (秒)	比率 (%)	経緯説明	188	40%	スタジオでの論評	89	19%	麻生財務大臣	99	21%	自民党	40	9%	野党	26	6%	デモの様子	23	5%
トピック	時間 (秒)	比率 (%)																					
経緯説明	188	40%																					
スタジオでの論評	89	19%																					
麻生財務大臣	99	21%																					
自民党	40	9%																					
野党	26	6%																					
デモの様子	23	5%																					
<p>経緯説明では佐川氏の関与の度合いは大きかったと政府からその佐川氏の責任を強調する声が相次いでいるこ</p>																							

と、森友学園への国有地売却をめぐる値引きの根拠を揺るがすような証言がでてきたことが報じられた。国有地売却を巡る新証言では値下げの根拠となったごみ問題について、実際にごみがあったのはそれより浅いところで業者は嘘を書いたことが説明され、ごみ問題を巡る業者と国のやり取りについては以下に朱記した形で取り上げられていた。

ナレーション「こうした中、森友学園への国有地売却をめぐる値引きの根拠を揺るがすような証言ができました。八億円を超える大幅値引きの根拠となった地中のゴミ。これを試掘した工事業者が嘘の試掘記録を作成した、と大阪地検に話しているというのです。この業者は最も深いところで3.8メートルのところまでごみがあったとする記録を作成。国はこれを元にゴミの量を計算し八億円を超える値引き額を算定しました。しかし、実際にごみがあったのはそれより浅いところで業者は嘘を書いたということです。この問題を巡っては業者と国側との交渉を録音したとされる音声データにこんなやり取りが残っています。」

籠池「考えてよ、その棟上げのときに首相夫人こられることになってる、設定をしててこられなくなってしまっかね、どうすんね、僕の顔は。」

森友の弁護士「死ぬ気で値段を下げるということに取り組んでほしいということに知恵を絞ってほしいということ。」

ナレーション「昭恵夫人の名前を出し、より深いところにごみはないかと業者に尋ねるのですが。」

業者「ちょっと待ってください、3メートル下からでてきたかどうかは確認できません、っていうこと。下から出てきたとは確定、断言は我々できていないので。」

ナレーション「ごみがあるとは言い切れないと渋る業者、これに対し国は。」

国の担当者「虚偽の内容に、あれが大事や。ある程度3メートル超も一定あると、出るじゃないですか、ということですよ。」

業者「あると思います。」

国の担当者「そのようなところを今後ポイントに絞りたいと思います。」

ナレーション「昭恵夫人の棟上げ式への出席について、安倍総理は招待も受けておらず行く予定も最初からなかった、と否定しています。」

なお、音声は共産党提供のものだった。

麻生財務大臣の対応については、野党からの野次に対して「やかましいなあ・・・、聞きたい？答弁。じゃあ静かにしてくれますか？」といらだちをあらわにするシーンや、「本件について真摯に反省をする必要がある、これ大きな大人がね、いい年した大人がね、こんな事俺に言わせるというところがそもそもふざけた話なんだ」と答弁するシーン、「佐川に対して直接話が行われているか、知らねえな。よく知りません、事務方に聞いてください。」という記者会見での発言シーンが取り上げられた他、発言について編集された以下に朱記したような場面があった。

ナレーション「その佐川氏については、麻生財務大臣もこれまで繰り返し、」

麻生財務大臣「最終責任者が、その時の理財局長の局長である、佐川、ということになると思います。」

麻生財務大臣「佐川の答弁が」

麻生財務大臣「佐川がです」

麻生財務大臣「佐川の」

麻生財務大臣「佐川が決裁文書の」

ナレーション「と、佐川氏の責任を強調してきた麻生大臣。」

自民党の質疑については義家弘介衆院議員の「佐川前局長は書き換えを知っていたと考えているのですか？」質問に対して、財務省の太田充理財局長が「佐川前局長の関与の度合いは大きかったのではないかというふうに考えてございます。で、知っていたか知っていなかったかと言えば、それは知っていた、というふうに思っております。」と答弁するシーンが取り上げられていたほか、義家弘介氏が「麻生大臣が、佐川佐川と呼ぶのはいかなのかと、呼び捨てにするのはいかなのかという話を聞きますけれど、私は呼び捨てにさせていただけるくらい信頼されたいと思っていますよ、そのくらい佐川さんのことを信頼し…」と発言していたシーンが取り上げられていた。

野党の質疑については共産党の山下芳生参院議員「国民を欺き国会を欺いた内閣は総辞職に値すると言わなければなりません。」という発言や、民進党の白眞勲参院議員の「これについて、国交大臣としてどういう認識なのか。」という質疑に対して、石井啓一国交相が「捜査に関する事項でございますので私からのコメントは差し控えさせていただきますと思います。」と答弁するシーンが取り上げられていた。

デモの様子では、雨が降りしきる中での官邸前デモの映像とデモに参加していた10代大学生の「財務省だけの問題になっているみたいなんですけれども、不信感っていうかきちんと説明していただきたい。」というコメントが紹介された。

スタジオでの論評については以下の朱記したやりとりがスタジオで繰り返されていた。

駒田健吾「国民の財産である国有地にあった小学校の建設予定地は深さ3.8メートルまでゴミが混入しているとして撤去に必要な額およそ8億2千万円を値引きすることになりました。業者の証言通りゴミがあった場所がもっと浅いところにあったとすると、当然、値引き額が減ることになります。つまり国民の収入が増えるということになります、星さん。」

星浩「そうですね、ゴミがどこまであったかということはこの森友問題の原点なんですよ。場合によってはもう一回掘り起こして再調査する必要も出てくると思いますね。」

雨宮塔子「そして週明けには集中審議があると思いますが、星さん焦点は」

雨宮塔子「はい、今日の段階で財務省はどれも佐川さんがこの文書改ざんを知ってたということを言ってますよね。で、どれも佐川さんにどんどん責任を負わせようということになっていきますけれども、週明けの集中審議では佐川さんが改竄の問題を誰に相談したのか、誰に指示したのか、そのへんの全体像をどこまで発掘できるか、この辺が野党にとって非常に大事なポイントになってくると思いますね。」

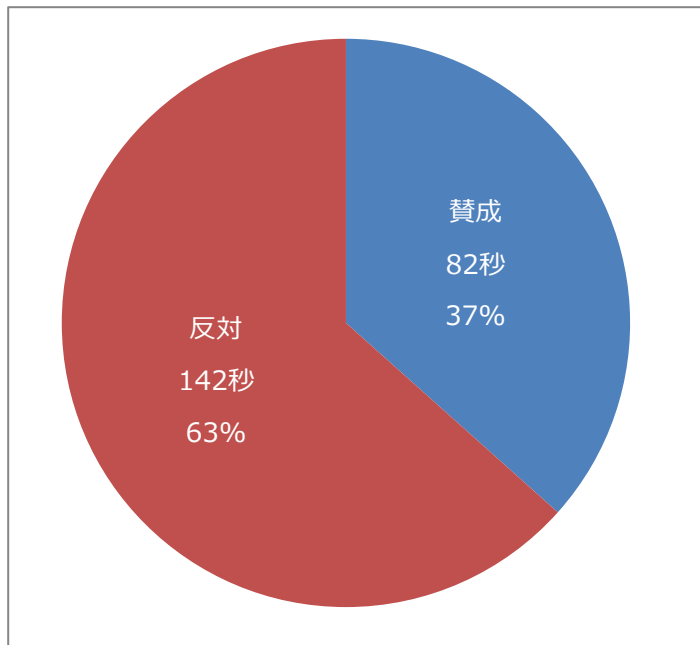
また、番組のクロージングの際に星キャスターが「今週は森友問題で連日お伝えしましたがけれども、週明けの月曜日は集中審議なんですけど、ある意味でこの一年間は改竄された文書で騙されてきたわけですからね、真相解明に向けて与野党を超えて意地を見せてもらいたいと思いますね。」と発言していた。

義家弘介衆院議員の「麻生大臣が、佐川佐川と呼ぶのはいかなのかと、呼び捨てにするのはいかなのかという話を聞きますけれど、私は呼び捨てにさせていただけるくらい信頼されたいと思っていますよ。そのくらい佐川さんのことを信頼し…」という発言については、明らかに発言の途中で音声がか切れていた。そのため「佐川さんのことを信頼し」の後に何を言っていたのかはわからず、「佐川さんのことを信頼し…」という部分だけでは文章として意味が通じない。その後に義家氏が何を言っていたのかがわかり初めて義家氏の発言の意味が通るにも

かかわらず、発言の途中でカットされていたことは、放送法第四条一項三号の「報道は事実をまげないですること」に抵触する可能性がある。

・前川前次官と文科省：結論→問題あり

天下り問題で文科省を辞任した前川前次官が中学校で行った授業について文科省が学校側に録音データの提出などを要請したこと、学校側は今日この問題について会見を行ったことが伝えられた。また、公開授業についてのチラシの画像も取り上げられており、そこでは前川氏は「前文科事務次官」として文科省時代の経歴についても紹介されていた。また、公開授業について、文部科学省前事務次官の前川喜平氏が自身の体験を元に夜間中学校や不登校などについて講演したこと、文科省の名古屋市教育委員会への問い合わせは異例である、ということも説明されていた。この問題については文科省の立場からの意見を賛成、今回の文科省の対応に否定的な意見を反対として集計した。なお、前川前次官の講演の内容自体に対する評価は中立のものとして集計した。このトピックについてあてられた時間は 359 秒で賛否の比率及び時間配分は以下の通りである。



賛成として集計したものには文科省の要請について音声で「前川氏は天下り問題により辞職、在任中に所謂出会い系バーを利用、同士についてどのような判断で依頼されたのか具体的に勝つ詳細にご教示してください。保護者以外の方としてはどのような方がどの程度参加されたのでしょうか、また動員が行われた事実があったかなかったかどうかについて明確にご教示ください。」と紹介した箇所、林文科大臣が今回の要請は法令に基づいた行為だったと説明し、そのうえで問い合わせの表現などについて担当局長らを注意したということ伝えた箇所があった。また、文科省大臣官房の白間竜一郎審議官の「圧力を感じさせるような全体として表現だったのではないか、というところにもうちょっと留意が必要だったのではないかと、というように私共も注意を受けております。」というコメント、林文科大臣の「このような事実関係の確認を行うにあたっては教育現場に置いて誤解を生じないように十分留意をすることは当然でありまして、そのような観点からは今回の書面についてはやや誤解を招きかねないという面もあったと考えられる。」というコメントを取り上げた箇所もあった。

反対として集計したものには名古屋市教育委員会の担当者の「今回、この授業の内容に踏み込んだの質問というのあまり私どもについても経験したことがないことですので、」というコメントや授業を実施した中学校の校長の「不登校に関する課題はどこの学校にもありまして、未来をつくる子供たちですね、この子供たちへエールを送ってほしいということで前川さんをお願いしたところですよ」というコメント、公明党の井上義久幹事長の「率直に言って、今回の文科省の対応については私は非常に違和感を感じております。」というコメント、希望の党の柚木道義衆院議員の「こういうことを事細かくこんなにたくさん現場に聞いたら、今後現場は萎縮してですね、こういういろんな公開授業、子供たちにとって本当に創意工夫を発揮した授業を、萎縮して、過度に、できなくなると思いませんか。」というコメントが取り上げられていた。加えて、前川氏の授業に参加した大人の「本当に一言でいえば完全な越権行為ではないですかこれは」というコメントや「文部省がそんなことまで監視しているのか、ちょっと怖い気がしますね」というコメントが取り上げられた他、専門家のコメントとして日本教育学会の前会長である藤田英典氏の「今回の問い合わせは不当な支配、禁止されている不当な支配にあたるかと言っていると思いますね。」というコメントや元文科省審議官の寺脇研氏の「とにかくびっくりしましたよね、文部科学省がこんなに細密な調査を行うということは前代未聞なことなので、日本の教育制度を今まで戦後運用してきた考え方からは大きく逸脱している。」というコメントが取り上げられていた。

前川前次官が文部科学省を退官することになった理由は天下り問題にあり、その意味では前川氏は文科省を円満に退職したというわけではない。そうした人物を講師として招くということはかなり珍しいことであると考えられるが、そうした点について前例がどの程度あるのかということについての言及はなかった。また、円満に退職したわけではなく退職から日が浅い事、座右の銘を「面従腹背」と言い放ったこと、「前川喜平」という個人である以上にどうしても「前文科事務次官」と扱われてしまうことから前川氏の個人的な見解が文科省の本音であるかのように受け取られてしまうおそれがあることなどを踏まえると、文科省の対応がナーバスなものとなるのは致し方ない面もあるように思える。事実として、公開授業についてのチラシでも「文部科学省前事務次官」と紹介されていた。確かに今回の文科省の対応は異例であろうが、そもそも天下り問題で退官することとなった文部科学省の前事務次官が学校の公開授業で講演するということが異例ではなかろうか。そうした異例な事態への対応が異例なものとなるのはある意味では当然でもあり、そうした点についての掘り下げがほとんどなかった。そうした点を踏まえると、賛否の比率についても大きく反対に偏っていることもさることながら、今回の報道ではなぜ文科省がそのような対応に出たのかという観点が欠けており、放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」に反するのみならず同四号の「意見が対立している問題については、できるだけ多くの角度から論点を明らかにすること」という点に於いても不十分なものであった。

・北朝鮮問題：結論→特に問題なし

スウェーデンを訪問中の北朝鮮のリ・ヨンホ外相は16日朝にスウェーデンの官邸を訪問しロベーン首相と会談したこと、スウェーデンのバルストロフ外相と2日目の会談も行ったこと、スウェーデンは米朝首脳会談について開催場所となることも含め仲介役を果たす姿勢を見せていること、スウェーデン外務省は「今回の一連の会談は米朝首脳会談に向けた土台作りとなりうる」と声明を出していることが伝えられた。このトピックについてあてられた時間は58秒で、放送法第四条の観点からは特に問題となる箇所はなかった。

## ・原発訴訟：結論→やや問題あり

東京電力福島第一原発事故で東京への自主避難者らが損害賠償を求めた裁判で東京地裁は国と東京電力の責任を認め 42 人に対しあわせておよそ 5900 万円を支払うよう命じたこと、判決では自主避難者について健康侵害の危険があるとして非難した判断は合理的であるとしたことが伝えられた。また、原告の鴨下祐也さんの「被害をしっかりと認めた判決として認められたということはとても大きいことだと思います。」というコメントが紹介されていた。このトピックについてあてられた時間は 43 秒だった。なお、この地裁判決を受けて国が控訴するかどうかは報じられておらず、判決に対して原告・被告どちらか一方のみのコメントや対応のみを伝えるというのは放送法第四条一項二号の「政治的に公平であること」という点からは不十分であるものの、43 秒という時間的成約の中では致し方ない面もあったのだろうと思われる。

## ・皇室：結論→特に問題なし

皇太子さまがブラジルで開かれる第八回世界水フォーラムに出席するために昨日成田空港から出発されたこと、皇太子さまはライフワークとして水害など水の問題の研究に取り組みされていて世界水フォーラムへの出席は九年ぶり四回目となること、現地では大統領主催の昼食会や日系ブラジル人とのレセプションにも出席される予定であることが伝えられた。このトピックについてあてられた時間は 34 秒で、放送法第四条の観点からは特に問題となる箇所はなかった。

## 最高裁判例の見地からの「印象操作」に関する所見および該当トピックの報道内容要旨

### ・森友問題：結論→問題あり

麻生財務大臣が「佐川」と連呼しているように編集されたシーンは実際の発言の文脈から切り離されていることで、実際はどういう発言をしていたのかが視聴者に伝わらないのみならず、編集によって麻生財務大臣が佐川氏に責任を理不尽な形で押し付けているかのような印象や予断を与えるおそれがある。真相解明を望むのであれば、発言を不自然に切り取るという編集や、特定の印象や予断を与える目的での編集は控えるべきであろう。

## 検証者所感

### ・森友学園問題

籠池理事長と国や業者と国とのやりとりについての音声データがなぜ共産党から提供されるのかは疑問だった。政権側から提示されるデータや証言については懐疑的であるのに対して、共産党から提供される情報にはそれほど懐疑的でないのも疑問だった。もはや政局となっている以上は、与党からの情報に対しても野党からの情報に対しても同程度の懐疑心を持った扱いをするべきではないのだろうか。